

## 韓国の保育所（オリニチップ）に関する研究（1）

黄 星 賀

### 〔抄 録〕

現代、韓国の社会では日本と同じく少子化問題や子育て支援の問題、また、児童虐待の問題が増えつつある。さらに、産業化により、核家族や共働き夫婦などでは深刻な子育ての悩みが生じている。その問題の解決策として、韓国政府は保育教師の育成、保育所（オリニチップ）の数を増やすなどの支援策を展開している。

本研究では、韓国社会での子育ての状況や保育所（オリニチップ）に関する現状を調べ、韓国の保育政策における課題を示すこととする。

**キーワード：**保育所，児童，少子化，保育，子育て支援

### はじめに

韓国で保育事業が本格的に実施されたのは、1961年に児童福利法が制定され、保育施設を児童福利施設中の一つに規定して「オリンイジブ（子どもの家）」が設置・運営されてからである（イ、1993）。しかし、韓国のオリニチップに対する政策は正式には1990年代から始まったといえる。1991年1月14日、韓国では「乳・幼児保育法」が制定され、この法に基づいた保育施設事業が活発になってきている<sup>1)</sup>。

現在の韓国の保育状況は、国・公立、企業、民間、個人などが運営するオリニチップと、1990年代後半に共同育児運動から設立されたオリニチップなどがつくられ、これは全国的に増えつつある。特に、日本の「共同保育運動」からつくられた保育所と比べて、韓国の「共同育児運動」からつくられたオリニチップは、1997年の「アジア経済危機」の時期に、国民のニーズと国家の支持を受け、全国に広まったという背景がある。

韓国の乳幼児保育制度は、教育部管轄による幼稚園と保健福祉部の管轄によるオリニチップとの2つの制度に分かれている。本研究では、日本の保育所に相当する韓国のオリニチップについて考察し、韓国の保育の現状を分析するために、経営状況が異なる5つのオリニチップを

比較しながら、今後の韓国での保育政策の課題を提示することを目的とする。

## ．韓国における保育の現状

韓国における幼児教育および保育をめぐる状況は、さまざまな困難を抱えている。一つは、韓国における急速な産業化であり、もう一つはそれに追いつけなかった社会的保育の不足である。

韓国では、伝統的に子育ては家庭の責任とされる風潮が続いてきた<sup>2)</sup>。しかし、1960年代からの急速な産業化により、女性の労働力が劣悪な状況のまま社会化され、その結果、育児への伝統的な観念だけは残されたまま、女性の労働力は育児からはぎとられて、産業化の下支えをする零細企業などの労働力として動員されていた。多くの幼児たちは母から取り残されてしまった。1970年代に公立の幼稚園、保育園が成立しているが、それは韓国のごく一部の子どものための施設でしかなく、多くの子どもを取り巻く環境は一向に変化しなかった<sup>3)</sup>。一方、子どもを預かって欲しいという親の要求に対してベビーホテルのような施設や早期教育などに関心が高まっている。また、保育所（オリニチップ）に関する要求も増えてきている。

韓国のオリニチップの先行研究には、丹羽 孝（1997）による韓国の幼稚園と保育施設（保

表１ 保育施設現状（（ ）内は幼児数）

年 度	合 計	国・公立	民 間 立	職 場	家 庭
1990	1,919 ( 48,000 )	360 ( 25,000 )	39 ( 15,000 )	20 ( 1,500 )	1,500 ( 20,000 )
1991	3,670 ( 89,441 )	503 ( 37,017 )	1,237 ( 36,099 )	19 ( 712 )	1,931 ( 15,613 )
1992	4,513 ( 123,297 )	720 ( 49,529 )	1,808 ( 57,797 )	28 ( 768 )	1,957 ( 15,203 )
1993	5,490 ( 153,270 )	837 ( 55,133 )	2,419 ( 80,400 )	29 ( 725 )	2,205 ( 17,012 )
1994	6,975 ( 219,308 )	983 ( 70,937 )	3,091 ( 119,968 )	37 ( 976 )	2,864 ( 27,427 )
1995	9,085 ( 293,747 )	1,029 ( 78,831 )	4,125 ( 170,412 )	87 ( 2,388 )	3,844 ( 42,116 )
1996	12,098 ( 403,001 )	1,079 ( 85,121 )	6,037 ( 255,844 )	117 ( 3,596 )	4,865 ( 58,440 )
1997	15,375 ( 520,959 )	1,158 ( 89,002 )	8,172 ( 358,245 )	158 ( 5,245 )	5,887 ( 68,467 )
1998	17,605 ( 556,957 )	1,258 ( 91,260 )	9,622 ( 400,906 )	184 ( 5,823 )	6,541 ( 58,968 )
1999	18,768 ( 640,915 )	1,300 ( 99,866 )	10,558 ( 466,477 )	207 ( 7,278 )	6,703 ( 67,294 )
2000	19,276 ( 686,000 )	1,295 ( 99,666 )	11,304 ( 510,567 )	204 ( 7,807 )	6,473 ( 67,960 )

出典：1990年から1994年の統計資料は韓国の保健福祉部（1995）『保健福祉統計年報』、丹羽（1997）を再引用している。1995年から2000年の統計資料は保健福祉部（2001）「保育施設年度別保育児童の現状」  
「保育施設年度別設置・運営現況」<http://www.educare.or.kr/newauth/>を参照して作成している。

育所）に関する研究がある。この論文の中では、幼稚園とは異なる保育施設の現状について紹介されている（表1）。この資料によると、1994年、国・公立の保育施設は、983カ所、民間立の保育施設は3,091カ所、その他に職場保育施設37カ所、家庭保育施設は2,864カ所存在する。1990年代に入って、乳幼児保育法（1991年）のもとで、民間保育施設（オリニチップ）が急速に発達してきていることがわかる。

さらに、韓国政府は、1995年から1997年まで総1兆3千億ウォン（1,300億円）の投融資を通じて「保育事業拡充3ヵ年計画」を樹立し（韓国児童団体協議会、1997）。その結果、2000年12月31日には、19,276カ所の国公立・民間・職場・家庭保育施設がつけられている（保健福祉部、2001）。

それぞれの保育施設がどういう法的根拠をもち、どのような運営状況なのかについては、同じく丹羽（1997）で紹介されている（表2）。

以下の表2は、「地域オリニチップ」と「オリニチップ」が、どのように異なるのかは不明確であるが、低年齢児を対象とし、保育時間も長く、オリニチップの性格は明確である。

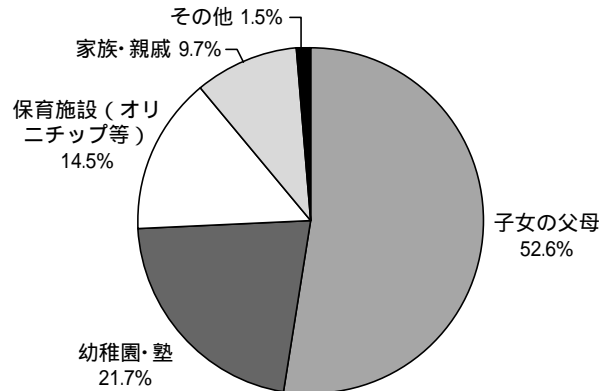
ところで、「国・公立」と「民間立」の保育施設を含めると、2000年では12,599施設（幼児数610,233名）である。これに対して、韓国の幼稚園数（公・私立合計）は、8,960施設（幼児数529,265名）である（丹羽、1997）。

表2 託児実施類型

名称	法的根拠	対象児童年齢	運用時間	内容	教職員構成	教師資格規準
家庭育児	嬰幼兒保育法施行令	0～6歳 （制限なし）	7～18時 （制限なし）	4～5歳 保護中心	託児教師 （託児母）	高卒＋家庭託児母訓練履修
職場託児	男女教育平等法12・13条	生後2か月以上 就学前児童	8～20時	保護中心	教師 託児母	幼稚園教師資格証所持者 保育士資格所持者 高卒＋家庭託児母訓練履修
地域オリニチップ	なし	主として 満2歳以上 （制限なし）	1日平均 12時間	保護中心	託児教師	規定なし （児童と地域に対して 愛情あるもの）
訪問託児	なし	（制限なし）	（規定なし）	保護中心	託児母	託児母養成課程履修
オリニチップ	なし	1歳以下 40% 2～3歳 40% 4歳以上 20%	7:30～19:30 （平日） 7:30～15:00 （土曜）	保護中心	園監、教師 保母、看護員、 調理者、管理員、 ボランティア	保育者、看護者、調理者、資格証保持者
幼稚園 全日班	なし	主に4～5歳	8～18時	教育中心	教師 補助教師	幼稚園教師資格証所持者
社会福祉 館00教室	社会福祉事業 施行令	（制限なし）	地域の特性に よる	保護中心	社会事業家	社会福祉者資格証保持者
農繁期 オリニチップ	なし	3歳以上 就学前	農繁期 非常設	保護中心	託児母	セマウル青少年会員 婦女会員中のボランティア
その他 （研究機関）	なし	一定していない	8～18時	教育と保護	教師 研究員等	幼稚園教師資格証保持者 および児童関連分野 博士または修士学位者

出典：イム・ミヘ（1995）『託児プログラムの理論と実際』トンムン社、12頁、丹羽（1997）を再引用している。

両者を比較すると分かるように、保育施設は幼稚園より半数にも及ばない。図１の韓国の就学前の子女養育状況でも、保育施設と幼稚園のこのような状況を示している。ここに、韓国と日本のオリニチップの相違が見られる。



出典：韓国統計庁（1999）『社会統計調査報告書』統計庁、246頁を参照している。

注：この統計資料は0歳から6歳までの児童を対象としているため、年齢が高くなるほど幼稚園や塾、保育施設に通っている子どもが多い。

また、表３の韓国の就学前子女養育実態は、年齢別に異なっている養育の現状を示している。0歳児や1歳児の場合、保育施設や託児所を利用する乳児の数は極めて少ないことがわかる。それは韓国の乳児に対する保育施設が極端に少ないことだけでなく、乳児に対する保育施設の養育費も高いという理由をあげることができる。

表３ 韓国の就学前子女養育実態

単位：名（％）

養育年齢	就学前子女数	父 母	家 族・ 親 戚	家政婦・ 知合いの人	幼 稚 園	保育施設	芸 能・ 体 育 塾	宣 教 園 (教会託児所)	家に一人 でいる
1歳未満	581,808 (100.0)	512,524 (88.1)	58,749 (10.1)	5,767 (1.0)		3,740 (0.6)		195 (0.0)	833 (0.1)
1 - 2歳	1,271,982 (100.0)	996,206 (78.3)	165,317 (13.0)	15,165 (1.2)	4,740 (0.4)	75,530 (5.9)	2,322 (0.2)	7,996 (0.6)	4,706 (0.4)
3 - 4歳	1,414,602 (100.0)	628,523 (44.4)	135,520 (9.6)	12,566 (0.9)	204,111 (14.4)	293,582 (20.8)	88,747 (6.3)	39,245 (2.8)	12,309 (0.9)
5 - 6歳	1,162,214 (100.0)	192,162 (16.5)	70,957 (86.1)	5,143 (0.4)	545,190 (46.9)	186,366 (16.0)	116,596 (10.0)	34,996 (3.0)	10,834 (0.9)

出典：韓国統計庁（1999）『社会統計調査報告書』統計庁、249頁を参照している。

## ．韓国の保育施設の種類

韓国の保育事業の種類は、保育場所により地域保育、職場保育と分類される。本節では、韓国の保健福祉部が規定している保育施設の種類の種類について紹介する（保健福祉部、2000）。

## 1) 形態別の種類

保育施設の形態別の種類としては 国・公立保育施設、民間保育施設、職場保育施設、家庭保育施設、共同育児協働組合保育施設がある。

### (1) 国・公立保育施設

国家と地方自治団体が設置・運営（委託運営を含む）する施設で、地域住民の子どもを50%以上保育する施設である。国家から施設の運営費などが支援されており、施設の規模は乳幼児11人以上を保育しなければならない。しかし、職員の子どもを主に保育する施設は職場保育施設として分類される。

### (2) 民間保育施設

法人、団体または個人が設置・運営する施設のうち、職場保育施設または家庭保育施設以外の施設である。企業（営利法人）が住居地域に地域住民の子どもを対象として設置・運営する施設もこの民間保育施設として分類される。

### (3) 職場保育施設

事業主が事業場の勤労者のために、単独または共同の事業場内、それに準ずる近隣地域、社員住宅など、事業場の勤労者の密集居住地域に設置・運営する施設である。父母に児童の保護についての心理的安定を提供する。女性勤労者300名以上の事業場では、法的に職場保育施設の設置が義務づけられている。

### (4) 家庭保育施設

個人が家庭またはそれに準ずるところに設置・運営する施設である。保護的保育の積極的類型で自分家（in-home）保育と「ノリバン（遊び部屋）」の形態がある。

### (5) 共同育児協働組合保育施設<sup>4)</sup>

保育児童がいる保護者5人以上が共同出資し、共同で保育施設を設置・運営する施設である。

## 2) 運営時間別の種類

また、保育施設の対象別種類では 半日制保育、終日制保育、時間制保育、放課前・後保育、全日制保育がある。

### (1) 半日制保育

朝9時から13時までの保育プログラムである。児童の集中力が高い時間帯であり、一番効果的な保育時間である。

### (2) 終日制保育

一般的に8時から18時までの保育である。共働き夫婦がよく利用する類型である。

### (3) 時間制保育

父母の緊急な事情が発生した場合、または一時的保育する場合、必要な時間に保育する。

### (4) 登校前・放課後保育

専門教師が宿題を指導する他、多様な活動を計画して芸能・体育の課外活動をする。

（５）全日制保育

保育教師が８時間３交代で運営し、寝床と食事が提供される。一般的な保護的保育である。

３）対象別の種類

保育施設の対象別種類では乳・幼児保育、放課後保育、特殊児童保育がある。

（１）乳・幼児保育

対象年齢は０歳から６歳未満の就学前の児童である。

（２）放課後保育

小学校の低学年を対象とし、１２歳まで保育する。

（３）特殊児童保育

この保育は障害児専門保育と乳児専門保育の２つの種類がある。障害児専門保育は、障害児のための施設を備えて、障害児２０名以上を対象に保育するものである。終日制保育を基準としている。乳児専門保育は乳児用のベット、哺乳びん、消毒器など必要施設を備えて、３０名以上を対象に保育する。

以上のように韓国の保健福祉部の「保育事業案内」では、多様な保育施設の種類を分類し、規定をつくっている。この研究では、本章で述べた韓国の保育施設の中で、運営主体や形態別種類が異なる韓国のデグ市にある５つのオリニチップを分析・比較し、韓国の保育の現状と課題を日本の現状とともに考察してみたい。

## ・韓国の保育所（オリニチップ）の状況

### １．ダルソ区三星オリニチップ<sup>５）</sup>

韓国の三星（サンソン）福祉財団は、１９８９年から現在まで３９カ所のオリニチップをつくっており、その中で、３２カ所のオリニチップを運営している。三星オリニチップは、低所得層の密集地域に位置するオリニチップと中産層の密集地域に位置するオリニチップに分けており、地域の生活状況による保育事業を実施している。低所得層の密集地域に位置するオリニチップでは、「三星包括的保育プログラム」を実施しており、中産層の密集地域に位置するオリニチップでは「児童中心の保育プログラム」を実施している<sup>６）</sup>。この章で述べる「ダルソ区三星オリニチップ」とは、中産層の子どもが多く通っている保育施設である（ダルソ区三星オリニチップ、２００２）。

#### １）保育施設の名称と経営主体

このオリニチップは保健福祉部の形態別分類では、企業の民間保育施設に該当する。経

営は財団法人三星福祉財団が設置・運営している。

2) 場所：韓国デグ市ダルソ区パサン同350番地

3) 設立の理由と保育目標（子ども像）

(1) 設立理由

三星の保育事業は、女性の社会参加増加と核家族化により、家庭養育機能が低下する現状に積極的に対処するための公益活動の一環として始まった。現在、中産層のこどもがほとんどであるオリニチップでは、「児童中心の保育プログラム」が実施されている。このオリニチップは、デグ市ダルソ区の中産層地域に居住する女性の社会参加を支援するために、「児童中心の保育プログラム」を実施している。

(2) 保育目標

教育課程の統合的運営として、五つの生活領域（健康、社会、表現、言語、探求）の発達が均衡的にできるように指導する。また、全人的成長のための基礎教育を行い日常生活に必要な基本能力と態度を教育する。三星オリニチップは教育、健康管理、栄養管理、安全管理を通じて、質的に優秀な保育プログラムをつくるため、最善の努力をしている。

4) 施設の概要

クラス数：8クラス

対象年齢：3歳 - 6歳（年齢基準日：0000年3月1日）

スタッフ数：23人（園長1人、保育士10人、調理士1人、特別活動講師3人（英語、美術、体育））

保育時間

午前保育：午前9時から午後3時まで

終日保育：午前9時から午後6時まで

延長保育：午前7時30分から午後7時30分まで

日課

8：30 - 9：00 登園

9：00 - 10：00 遊び計画および自由選択活動

10：10 - 10：20 領域別教材整理および出席カード

10：20 - 10：30 お手洗い

10：30 - 10：50 音楽鑑賞

10：50 - 11：10 おやつ

11：10 - 11：30 大集団活動

11：30 - 12：00 領域別授業

12：00 - 12：30 造形活動

12：30 - 13：30	昼食および歯磨き
13：30 - 14：00	室外遊びおよび自由遊び
14：00 - 14：30	特別授業
14：30 - 14：50	童話、童詩およびお話
14：50 - 15：00	評価および帰宅指導
保育料	1 歳            338,000ウォン
	2 歳            274,000ウォン
	3 歳以上    165,000ウォン

#### ５） 保育の内容

自由活動（コーナー遊び）：興味領域別に構成されている環境で多様な教材や資料を探索しながら学習する。

音楽・造型・体育：集団活動で童謡、運動、自然観察などを行う。

散歩：主に保育園の中で散歩をしているが、時々、近くにある公園に出かける。

給食・おやつ：午前、午後の２回おやつと昼食を食べる。また、週３回手作りおやつを、週２回パン、お菓子を食べる。

年間行事：１年の月別の行事は次のとおりである。

３月  父母面談、身体検査、人形劇観覧、

４月  春の遠足、人形劇観覧、お誕生日会

５月  ダルソン公園見学、人形劇観覧、家族の山登り

６月  父母参観授業、人形劇観覧、お誕生日会

７月  市場遊び、病院遊び、人形劇観覧、キャンプ

８月  プール、お誕生日会、人形劇観覧、教師研修

９月  新聞社見学、礼節教室、料理実習

10月  秋の運動会、サツマイモ掘り、消防署見学、お誕生日会、人形劇観覧

11月  子ども会館見学、父母参観授業、人形劇観覧

12月  サンタ行事、お誕生日会、人形劇観覧、木の変化観察

１月  放送局見学、人形劇観覧、英語、テェコンド参観授業、美術授業説明会、新入生オリエンテーション

２月  お誕生日会

#### ６） 父母の会・地域活動

子どもたちの地域活動のために社会施設の見学などを重要視している。また、父母教育やワークショップを実施し、子どもの生活指導について講演などを行っている。

#### ７） 施設運営で大切にしていること

三星オリニチップの保育プログラムは、全人発達、児童中心教育を重要視している。特



に、前述したように「児童中心保育プログラム」を実施し、一般幼稚園の教育以上の児童に対する個性を尊重した質の高い教育プログラムを実行している。

#### 〔注〕

- (1) この理由としては、「乳・幼児保育法」が制定され、初めて社会的に「保育教師」の資格制度が認められたことがあげられる。それ以前は、就学前の子どもに対する大学の専門的な資格として幼稚園の教師資格しか存在していない状態であった。さらに、国の就学前の教育機関として認定される施設は幼稚園のみであった。
- (2) 殿平 喜彦 (1999)「子どもが主人公の保育を - 韓国における共同育児運動の報告 - 」『現代と保育』No.48、136 - 137頁を参照している。
- (3) これは前掲書の137頁を参照している。
- (4) この保育施設は、1991年の「乳・幼児保育法」では民間保育施設に分類されていたが、2000年保健福祉部の新しい「保育案内」では正式に形態別種類として認められている。
- (5) この章は、韓国のデゲ市に位置するダルソ区三星オリニチップを直接訪問し、調査した資料やホームページの内容に基づいて整理している。
- (6) 三星オリニチップが実施する低所得層のための「三星包括的保育プログラム」は、オリニチップに「社会福祉士」が職員として配置されており、乳・幼児に対するサービスを提供することを中心として、父母教育および支援プログラムと地域社会連携プログラムを通じて付加的サービスを提供する保育プログラムである。また、中産層のための「児童中心の保育プログラム」は子どもの成長に合わせて発育に適合した保育プログラムである (ダルソ区三星オリニチップ、2002)。

#### 〔参考文献〕

- イ・ソンジン (1993)『韓国の乳・幼児保育の現実と長・短期的発展展望』ハンオル。
- ダルソ区三星オリニチップ (2002)「ダルソ区三星オリニチップパンフレット」ダルソ区三星オリニチップ。
- 韓国児童団体協議会 (1997)『21世紀韓国の児童政策』韓国児童団体協議会。
- 韓国統計庁 (1999)『社会統計調査報告書』統計庁。
- ソン・ムンソン (1997)「韓国の児童・青少年福祉の現在と未来」第2回カトリック大学社会福祉研究所シンポジウム『韓・日・中児童・青少年福祉の現在と未来』カトリック大学社会福祉研究所、45-70頁。
- 殿平 喜彦 (1999)「子どもが主人公の保育を-韓国における共同育児運動の報告-」『現代と保育』No.48、136-148頁。
- 勅使千鶴 (2000)「新千年に向けて、韓国の共同育児運動の取り組み」『保育情報』No.276。
- 丹羽 孝 (1997)「韓国」日本保育学会編『諸外国における保育の現状と課題』世界文化社、97-108頁。
- <http://www.educare.or.kr/newauth/>保健福祉部 (2001)「全国保育施設設置・運営現況」。

韓国の保育所（オリニチップ）に関する研究（１）（黄 星 賀）

<http://www.educare.or.kr/newauth/>保健福祉部（2001）「保育施設年度別保育児童の現況」。

<http://www.educare.or.kr/newauth/>保健福祉部（2001）「保育施設年度別設置・運営現況」。

<http://www.educare.or.kr/boardadmin/>保健福祉部（2000）「保育施設の種類」。

<http://www.iwink1004.co.kr/>ダルソ区三星オリニチップホームページ。

（ファン ソン ハ 佛教大学総合研究所研修員・韓国慶山大学校専任講師）

（指導教授：穴戸 健夫教授）

2002年10月16日受理